



R7 第2回 校長「語らいサロン」

墨田区立第三吾嬬小学校

11月
2025

「学力」とは何か？



不登校の子 学力不安消えず

不登校の子どもの、学力や成績とどう向き合えばいいだろうか。3人の子どもが不登校で、保護者向けオンラインコミュニティ「明るい不登校」を主宰する山本りか代表へ、質問・本人提供=に聞いた。

までの開拓は今までの手段

反映したい でも見ていない活動をどうやっ

学外学習の成績評価への反映状況

中学生		35万3970人
小学生		2万2885人
6万	1467人	中学生
5万	8578人	小学生
27万	3903人	11万4815人
中学生	15万7688人	

子ども目線で語りかけて

学外の評価基準なく

「新規のもので、お手元に
お受けしてお仕事の参考書籍
を大目にして」と、ほほ笑み、
書籍が書籍屋さんで売ら
ないかね?など、懇意な口調
で囁く。すると、彼女の胸
元に、各書籍の表紙
が並んでいた。
「へ、何これ?」

成績表は絶
対に高い順位が取れました。一方、学校での評議のあり方では、議論が多かった。
文部省大賞は2004年9月、自らもフリースタイルをやめた成田義洋監督が、これまで示した通りを実現
した。学外での取り組みが、その在籍の教育課程へ反映したこと、学校が生

でいいと決めたけど それでも揺れる心

「学べる居場所」に注目

CU
クローズ
アップ

東洋の歴史

卷之三

1

10月30日毎日新聞朝刊より



子どもが社会に出たときに一番求められるのは非認知能力だと言われていますが、**現状では中学受験の段階で学力によって進路が決まってしまいます**。小学校4年生から6年生の3年間は、受験のために習い事を一時的にやめて、**受験に必要な知識を詰め込む**ことが多く、年齢に比べて負担が大きいのではないかと感じています。もちろん受験は自由な選択ですが、選んだ以上はそのルールに従うしかないという点に少し違和感があります。（3年生保護者）



我が子の例で言うと**基礎的な学力(読み、書き、計算)**が備わっているようには思えない。（2年生保護者）

川中子先生やきょうだいが通っている学校の先生方のお話を聞くたびに、「**学力とは何なのか？**」が最近分からなくてなってきました。（5年生保護者）

今回のCOCOOアンケートより

「学力」とは、
学力調査（テスト）の点
数や偏差値のこと？

「学力」とは、
通知表の成績のこと？

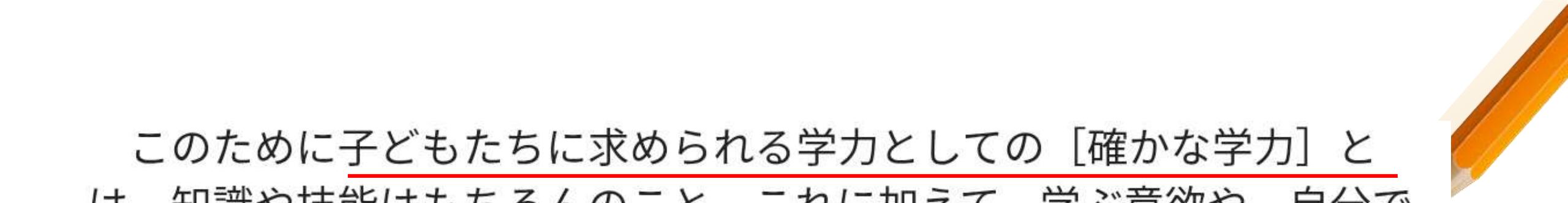
「学力」とは、
知識の量？記憶力？

「学力」とは、
「学ぶ」力?
「学んだ」力?

「学力」とは、何だろう？

AIによる定義では…

「学力」とは、
学習によって身につけた
知識や技能の総体



このために子どもたちに求められる学力としての【確かな学力】とは、知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等までを含めたものであり、これを個性を生かす教育の中ではぐくむことが肝要である。

また、昨今の学力低下に関する論議は、学力を単に知識の量としてとらえる立場、あるいは思考力・判断力・表現力や学ぶ意欲などまでも含めて総合的にとらえる立場など、学力をどのようにとらえるかの立場の違いにより議論がかみ合っていないと思われる場合もある。本審議会としては、これからの中学校教育では、【生きる力】という生涯学習の基礎的な資質や能力を育成する観点から、上記の【確かな学力】を重視すべきであると考える。



国際調査**PISA**が示す学力の方向性

OECDのPISA（生徒の学習到達度調査）では、以下のような力が測定されています⁴：

- ・ 読解力：情報を読み取り、評価し、活用する力
- ・ 数学的リテラシー：日常生活で数学を使って問題を解決する力
- ・ 科学的リテラシー：科学的に考え、判断する力

これらはすべて「実生活で知識を活用する力」に焦点を当てており、単なる暗記では測れない学力です。

【学力の主な定義と構成要素】 指導要領における「学力」

知識・理解

教科書や授業で**学ぶ内容をどれだけ理解し、記憶しているか。**

例：漢字の読み書き、数学の公式、歴史の出来事など。

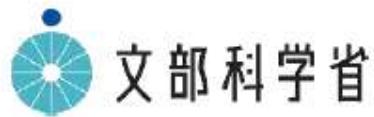
思考力・判断力・表現力

単なる暗記ではなく、**情報を分析し、自分の考えをまとめて表現する力。**

例：文章の要約、問題解決のための論理的思考、意見文の作成など。

学びに向かう力・人間性等

自ら学ぼうとする**意欲、協働する力、粘り強さ**など。



教育課程企画特別部会

論点整理 参考資料集

令和7年9月25日
中央教育審議会
教育課程企画特別部会

現行学習指導要領の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

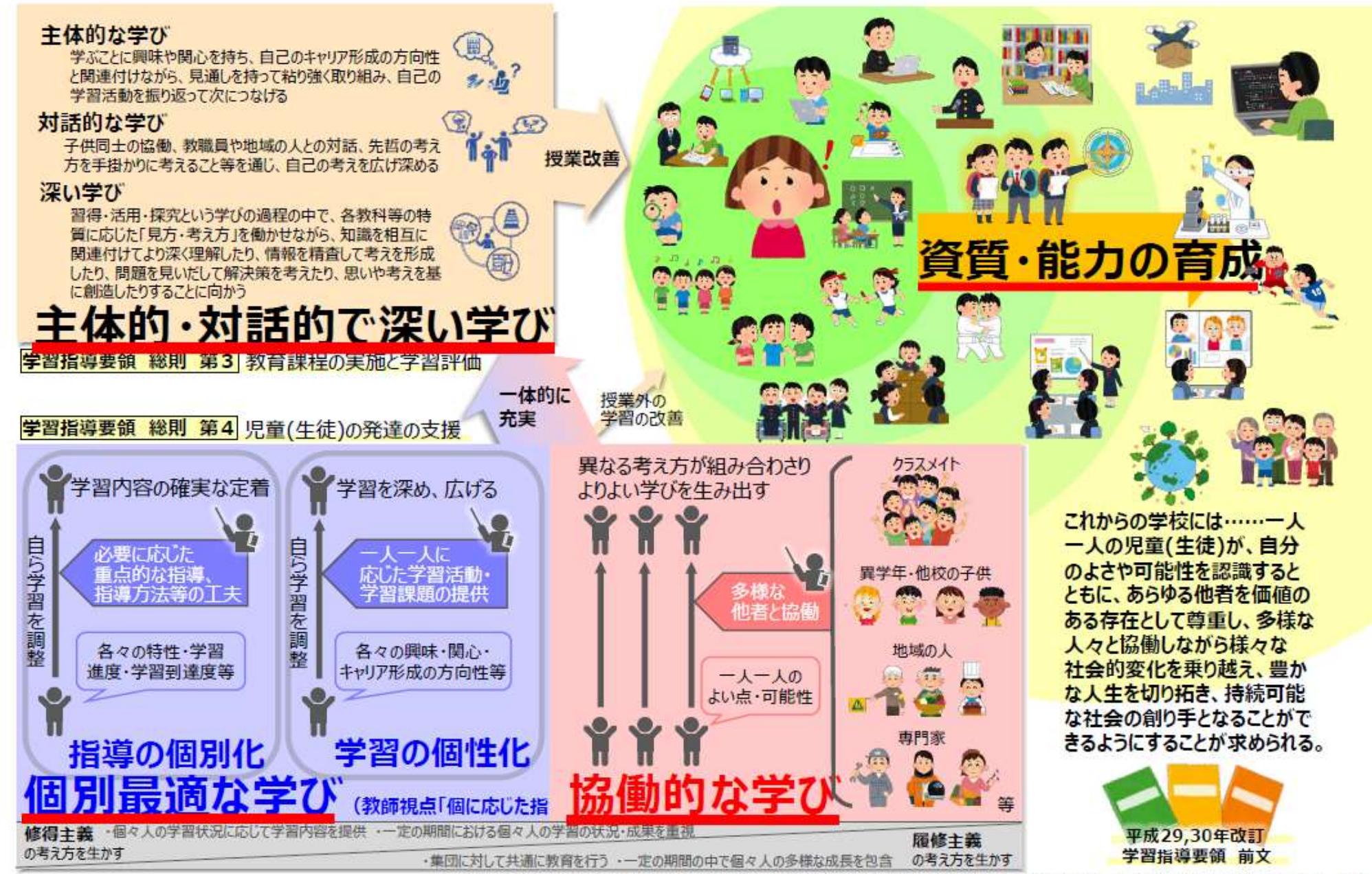
どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための
学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（現状のイメージ）



主体的・対話的で深い学びの実現 (「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)について(イメージ)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすること

【主体的な学び】の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。



学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



【対話的な学び】の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

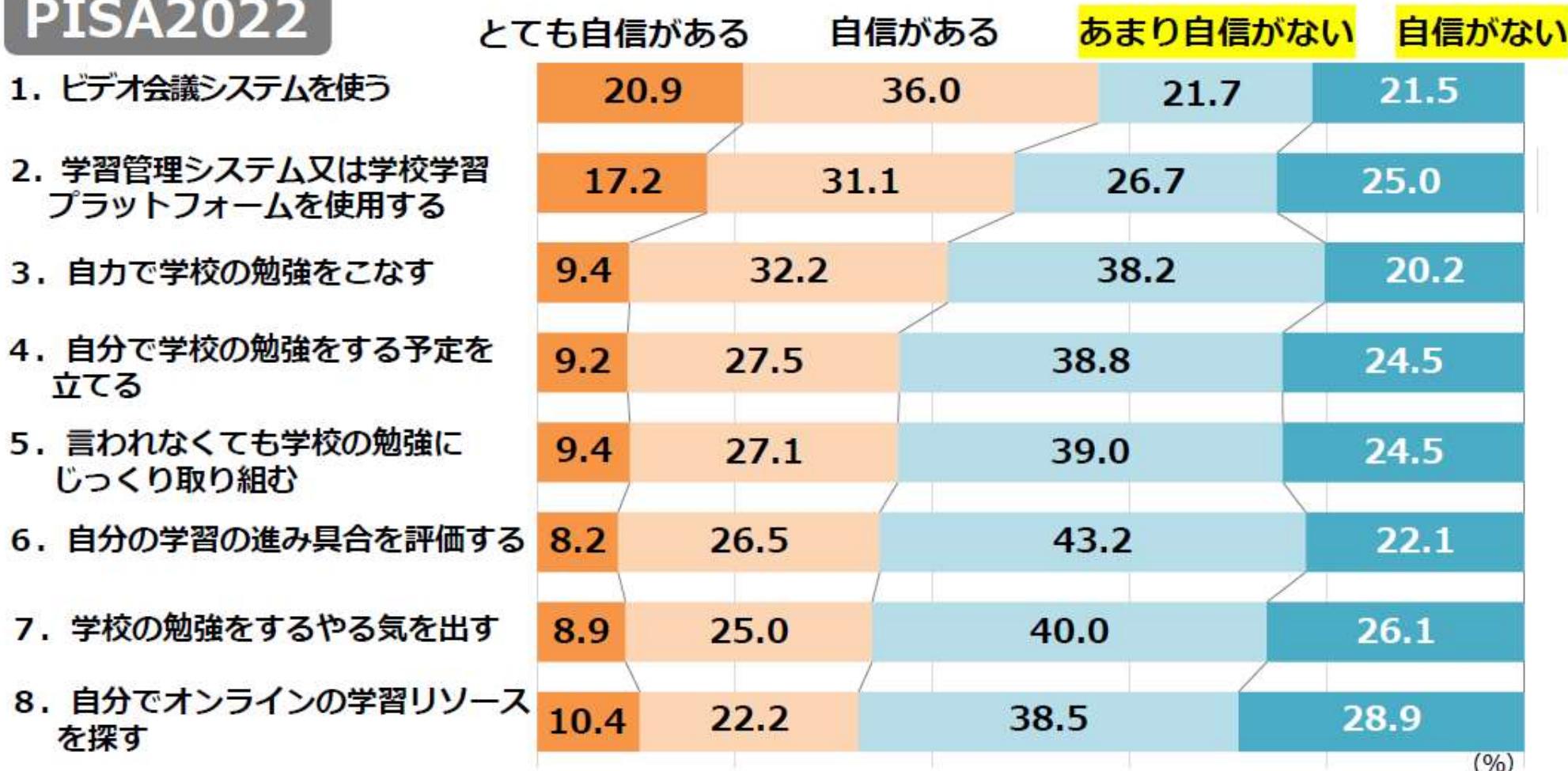


【深い学び】の視点

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

再び休校になった場合、自律的に学ぶ自信がない生徒が多い

PISA2022



上記8項目を指標化して比較すると

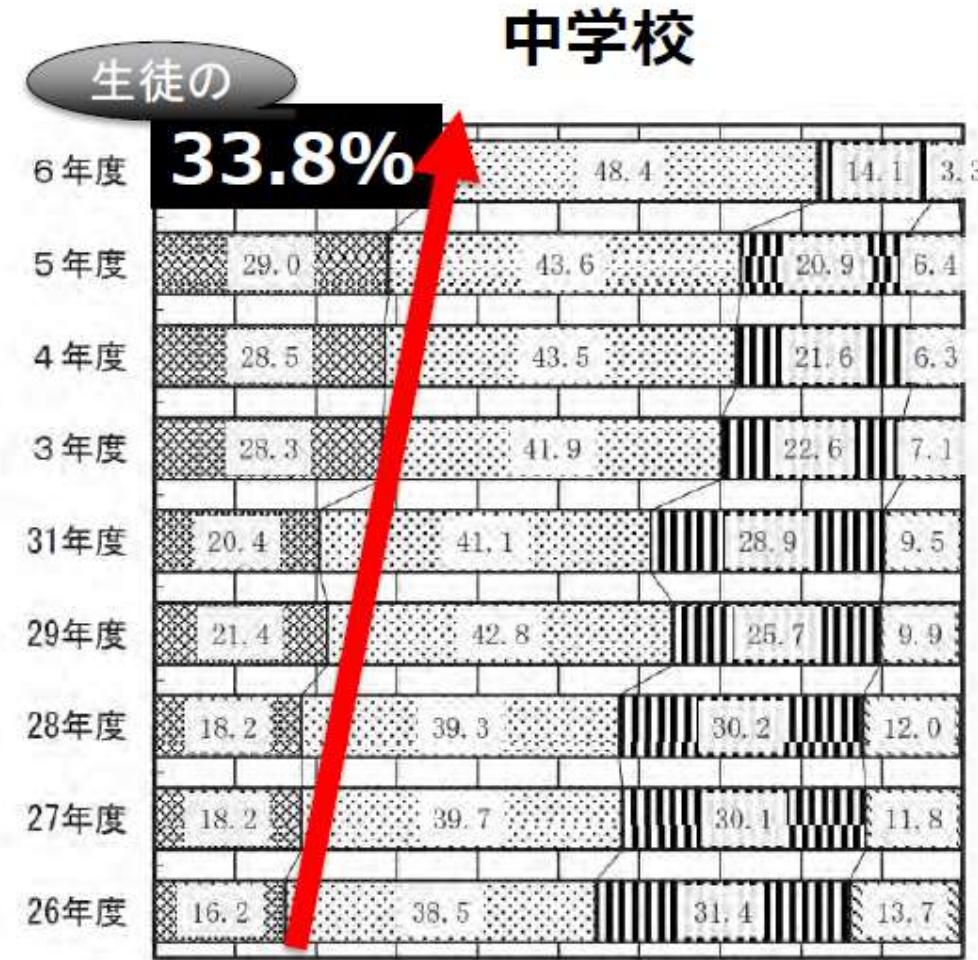
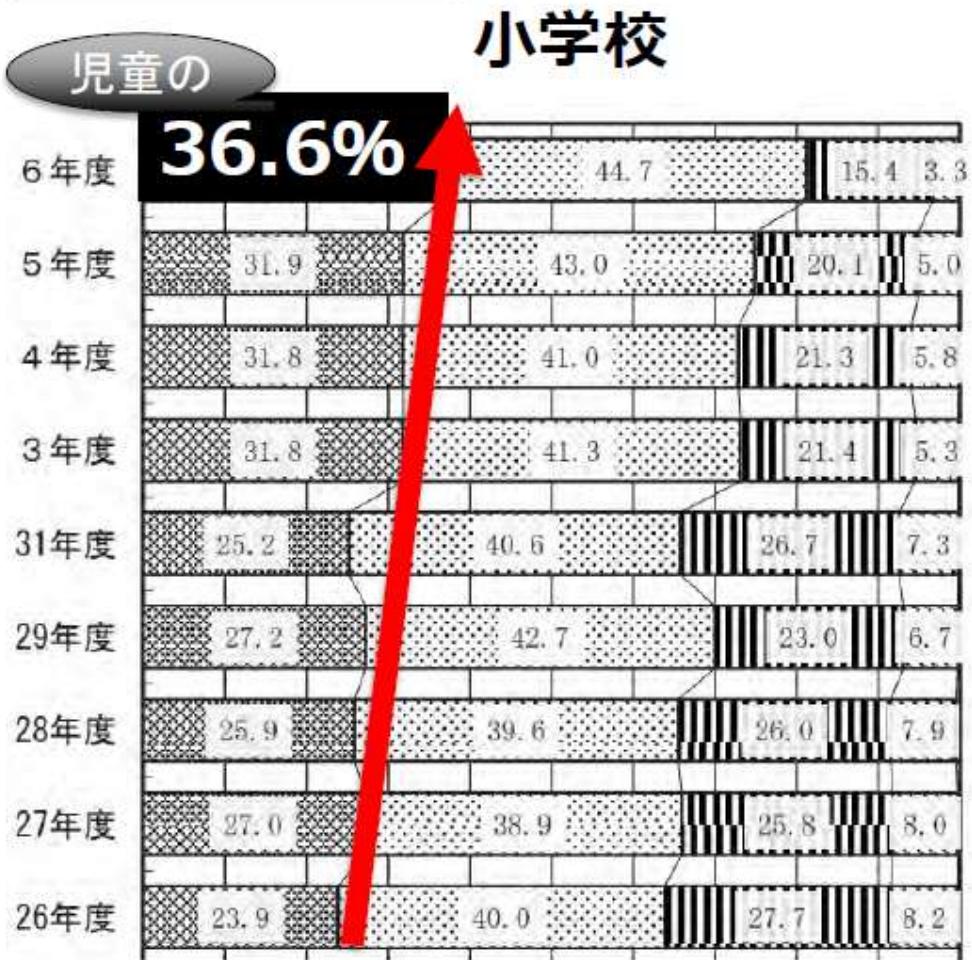
※OECD加盟国37か国の中位値が0.0、標準偏差が1.0となるよう標準化されており、値が大きいほど、自律学習に対する自己効力感(自信)が高い。

OECD平均	0.01
日本(34/37位)	-0.68

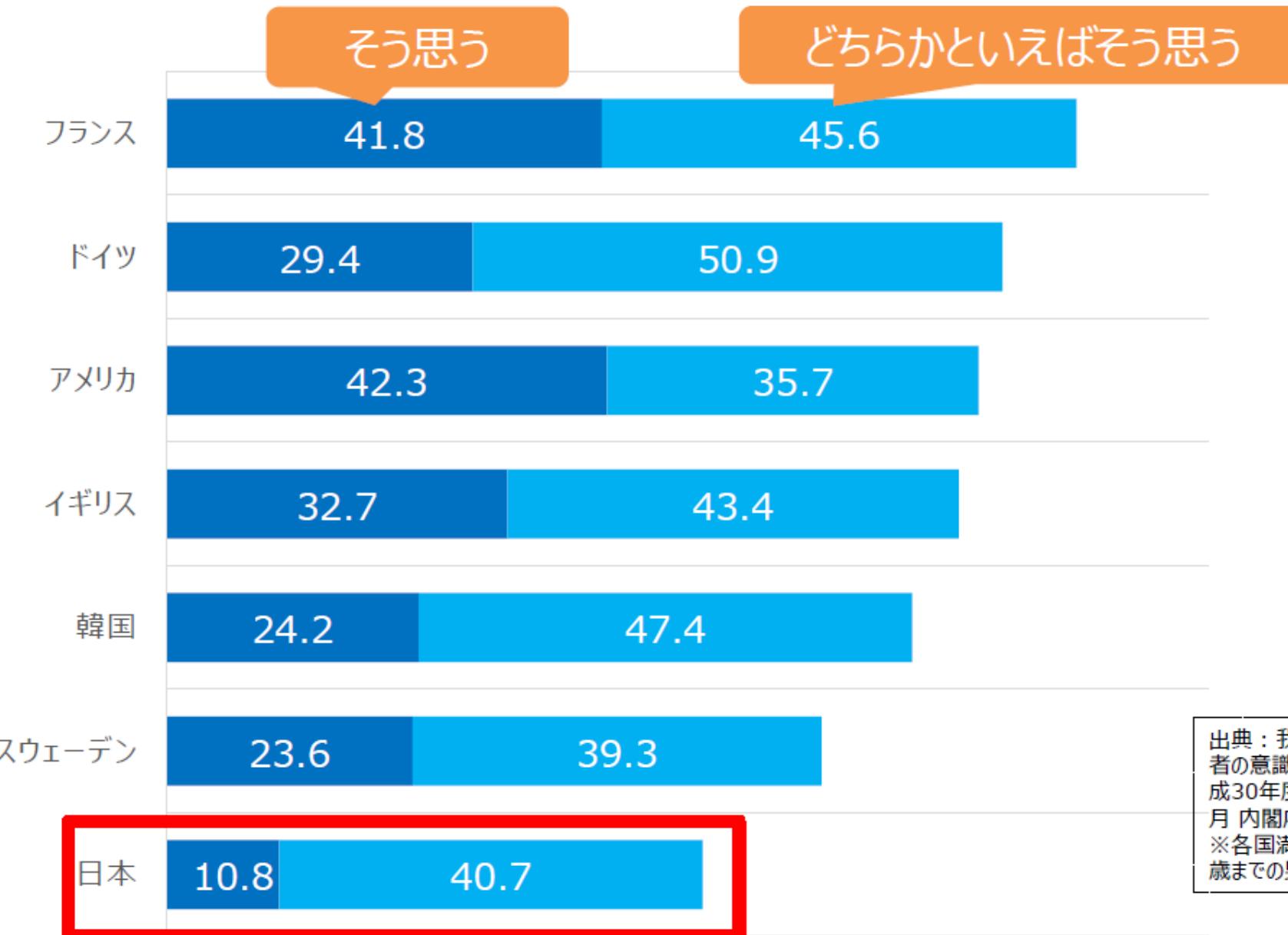
自分で課題を立てて情報を集めたり発表する学習の状況

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」という質問に対して、「当てはまる」は増加傾向だが、未だ3～4割。

R6全国学調

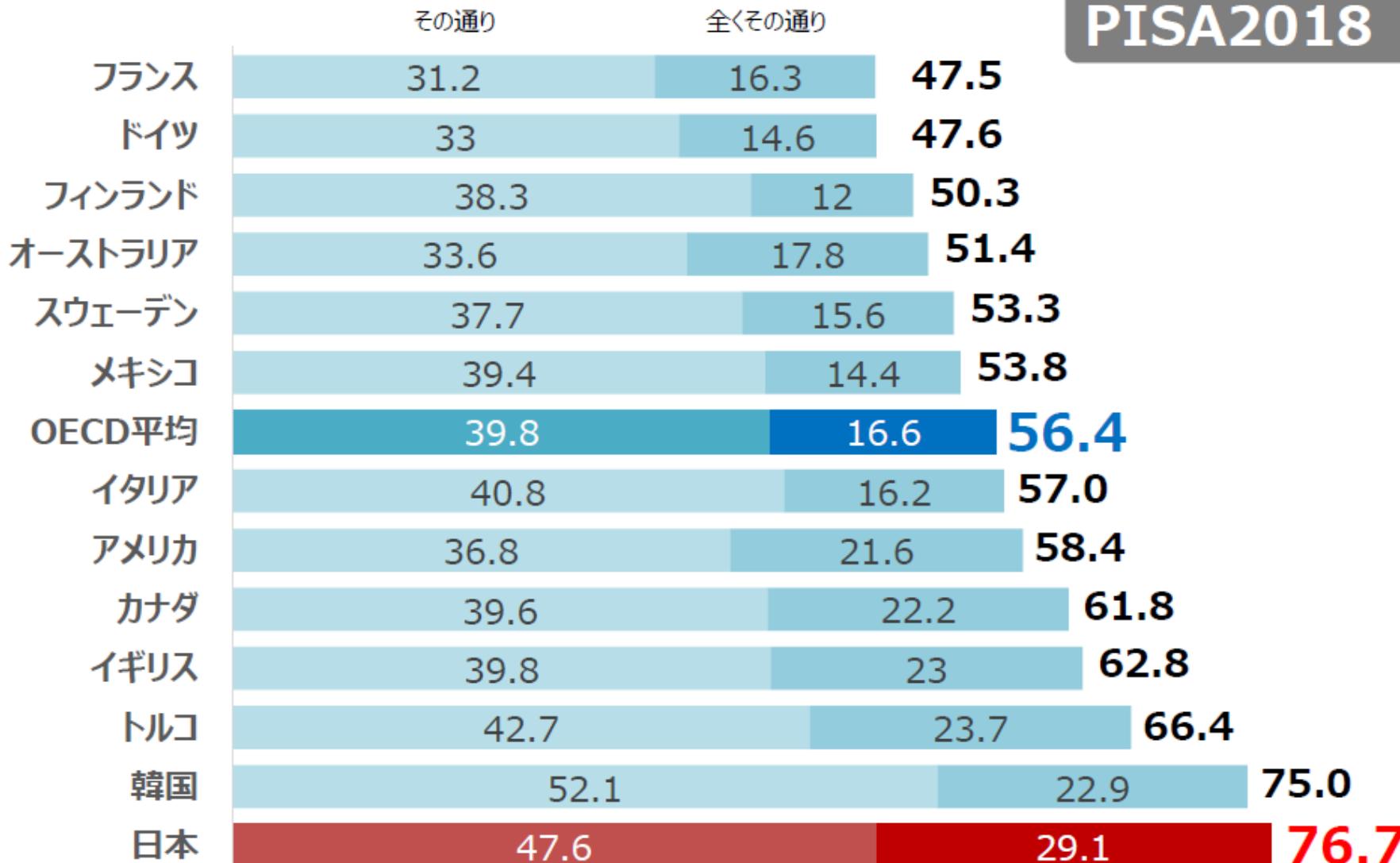


うまくいかわからぬことにも意欲的に取り組む割合が諸外国より低い



失敗を恐れる生徒が多い

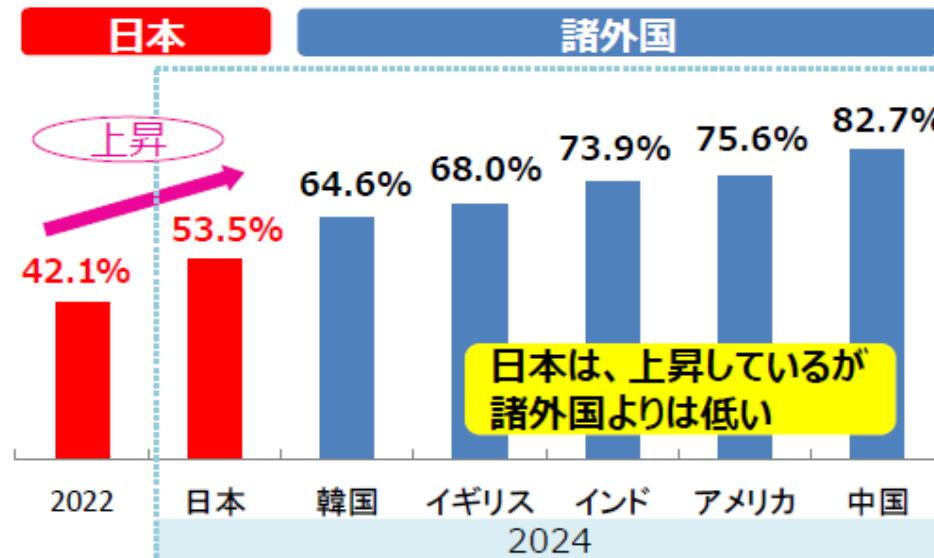
PISA2018



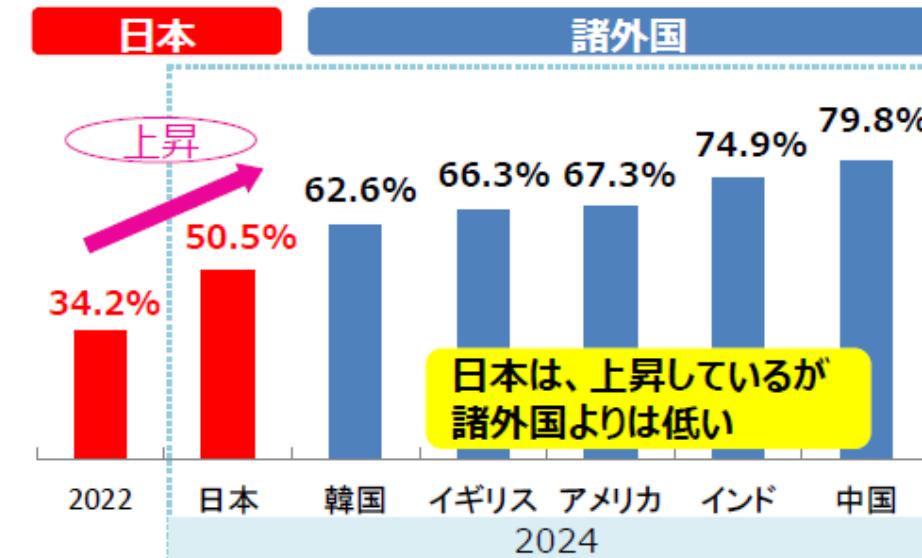
出典：OECD PISA 2018質問紙調査
「失敗しそうなとき、他の人が自分のことをどう思うかが気になる」
「その通りだ」「全くその通りだ」

社会に対する若者の意識が諸外国に比べて低い

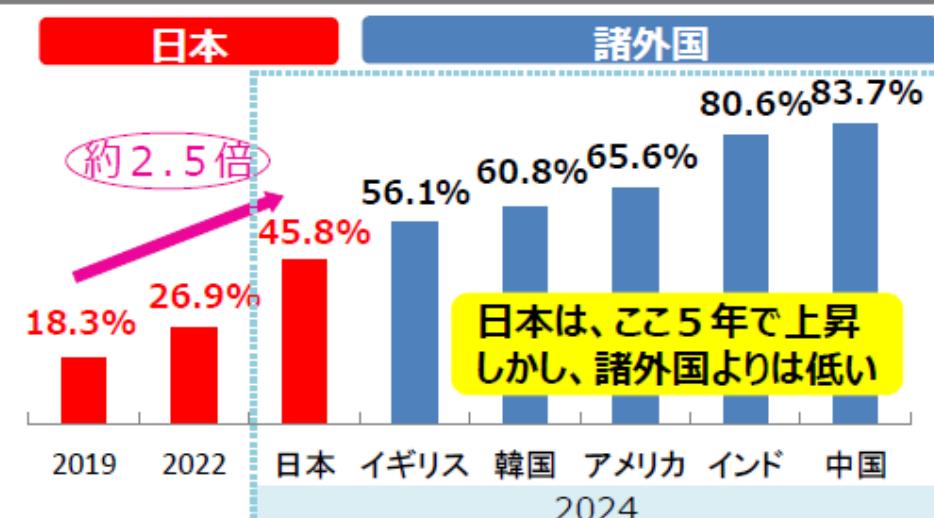
①政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている



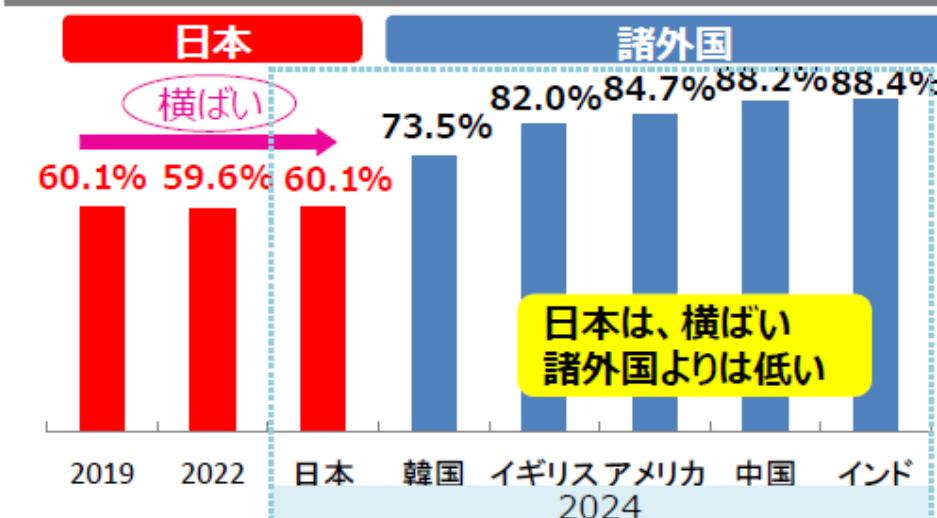
②政治や選挙、社会問題について家族や友人と議論することがある



③自分の行動で国や社会を変えられると思う

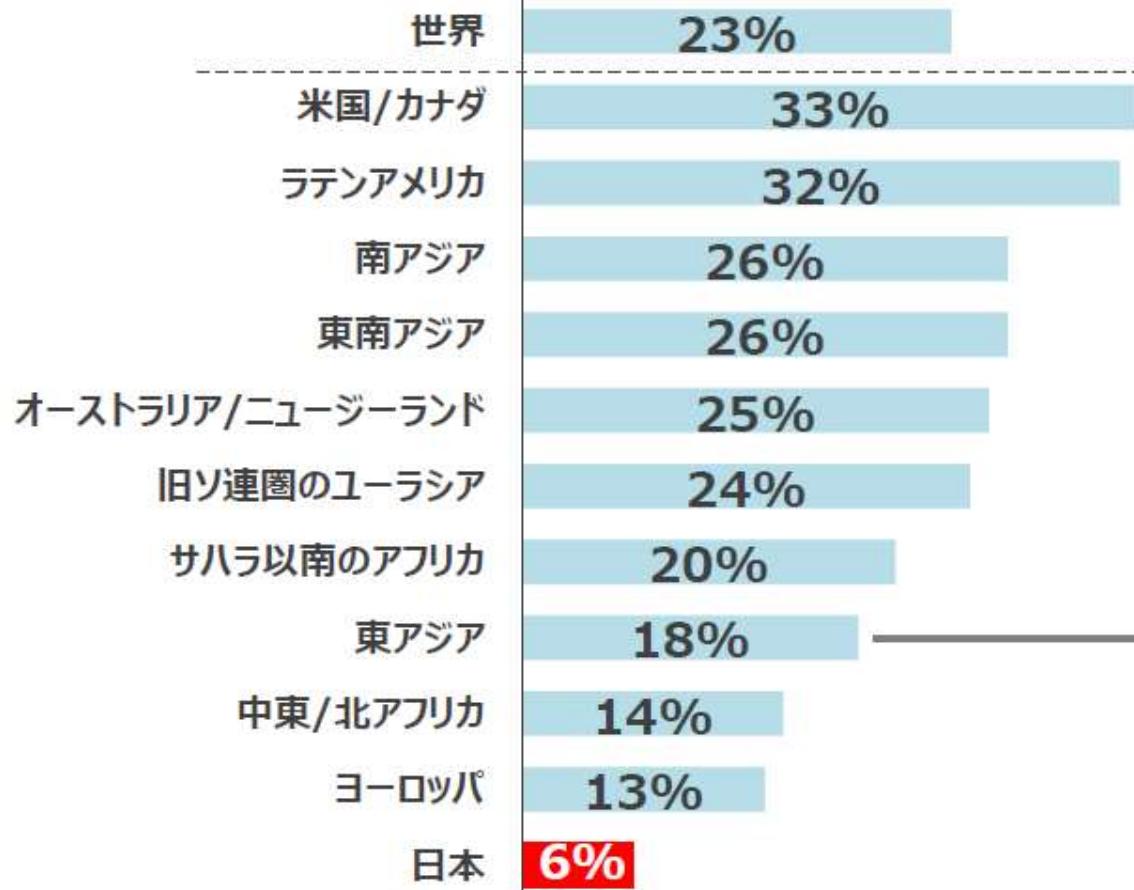


④将来の夢を持っている

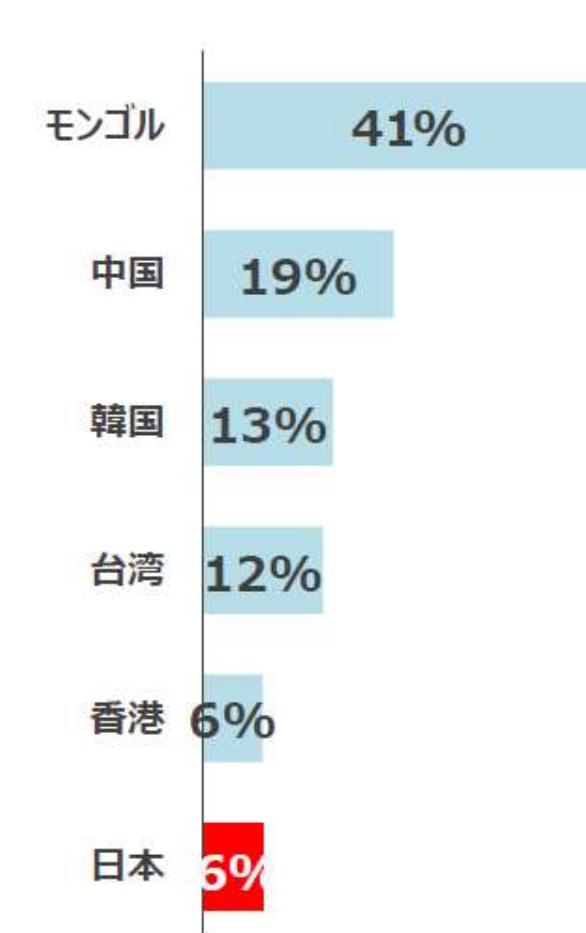


日本企業の従業員エンゲージメントは、世界最低水準

世界全体



東アジア



(注) 「従業員エンゲージメント」は、従業員が自らの仕事や職場にどれだけ関与し、熱意を持っているかを表す指標。「職場で自分の意見が尊重されている」「会社のミッションや目的が、自分の仕事を重要に感じさせてくれる」などの12項目からなる回答から、GALLUP社独自の判定基準に基づきエンゲージメントの有無を判定。

(出所) GALLUP "State of the Global Workplace 2024"を基に文部科学省作成。



ありがとうございました

墨田区立第三吾嬬小学校